

高レベル放射性廃棄物処分懇談会 特別会合の設置について（案）

今後の高レベル放射性廃棄物処分懇談会における審議を効果的、効率的に進めるため、処分懇談会の下に、「社会的受容性に関する特別会合」及び「サイト選定プロセス・立地地域への対応に関する特別会合」を設置する。両特別会合は、それぞれの検討事項に応じて論点を整理し懇談会に報告する。

1. 日程

- 平成9年春開催の処分懇談会に、それぞれ論点を整理して報告する。議論の進捗については、随時処分懇談会に報告する。
- 当面、月に2回程度開催。

2. 特別会合の検討事項

（1）社会的受容性に関する特別会合

高レベル放射性廃棄物処分に関する国民の理解と納得を得るための基本的考え方及び広報等の具体的方策。

（2）サイト選定プロセス・立地地域への対応に関する特別会合

高レベル放射性廃棄物処分予定地の選定に関するサイト選定プロセス及び立地地域への対応についての基本的な考え方及び具体的方策。

3. 構成員

（1）社会的受容性に関する特別会合

（主 査）森 昭夫 上智大学教授（法学部）
竹本 成徳 日本生活協同組合連合会会長理事
中村 政雄 前読売新聞論説委員
深海 博明 慶応義塾大学教授（経済学部）
松田 美夜子 生活評論家（廃棄物問題とリサイクル）
南 和子 評論家
バックエンド専門部会から
小西 攻 NHK解説委員
鳥井 弘之 日本経済新聞論説委員

（2）サイト選定プロセス・立地地域への対応に関する特別会合

（主 査）森 昭夫 上智大学教授（法学部）
石橋 忠雄 弁護士
木元 教子 評論家
塩野 宏 成蹊大学教授（法学部）
中村 政雄 前読売新聞論説委員
野口 敏也 日本労働組合総連合会総合政策局長
深海 博明 慶応義塾大学教授（経済学部）
バックエンド専門部会から
田中 靖政 学習院大学教授（法学部）

（参考）

1. 上記構成員については必要に応じ追加できるものとする。
2. 高レベル放射性廃棄物処分懇談会の各委員は、本特別会合に適宜参加できるものとする。